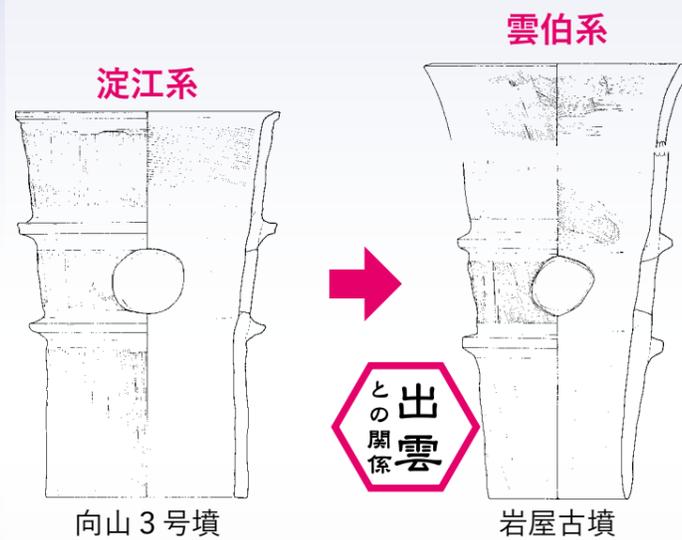


向山古墳群の変遷

	中西尾	瓶山	向山 小・中型 大型 (首長墓)	小枝山	晩田山
前4世紀					10号墳 3号墳
中5世紀	日吉塚			上の山	17号墳
後6世紀	井出挾3号墳 井出挾2号墳 井出挾1号墳	3号墳 7号墳 6号墳 8号墳 2号墳 3号墳 1・4号墳	3号墳 7号墳 6号墳 8号墳 4号墳 2号墳 長者ヶ平(5号墳) 岩屋(1号墳)	小枝山12号墳 石馬谷	12号墳 5号墳 14号墳 29号墳 15号墳

向山古墳群の埴輪2種 向山古墳群には2種類の埴輪があります。3号墳や4号墳、6～8号墳で出土する古い埴輪と、長者ヶ平古墳や岩屋古墳で出土する新しい埴輪です。最近では、古い埴輪を淀江系、新しい埴輪を雲伯系と呼ぶ研究があります。それぞれがどのような背景で成立、変化したのかまだわからない部分もありますが、向山古墳群で前方後円墳が連続して築造されていた間にも、淀江の埴輪が出雲の埴輪の影響を受けて大きく変化したことがわかります。



上淀白鳳の丘展示館
 上淀廃寺金堂内部の復元展示を中心に、壁画・塑像片などの出土遺物や、向山古墳群から出土した遺物など、上淀廃寺建立以前の淀江平野の歴史を語る様々な考古資料を展示しています。
 ●入館料 大人310円 高大学生160円
 ●開館時間 9:30～18:00 (入館は17:30まで)
 ●休館日 毎週火曜日 (祝日の場合はその翌日) 年末年始
 〒689-3411 鳥取県米子市淀江町福岡 977-2
 TEL 0859-56-2271
 FAX 0859-21-5480
 Email tenjikan@yonagobunka.net



交通アクセス ●【徒歩】JR 淀江駅より約20分 【車】山陰道淀江ICより約3分
 ●【駐車場】伯耆古代の丘公園の無料駐車場、または上淀白鳳の丘展示館駐車場をご利用ください。
※石馬見学 天神垣神社収蔵庫内の石馬の見学を希望される方は、上淀白鳳の丘展示館にお問合せください。



国指定史跡 鳥取県米子市
向山古墳群

米子市教育委員会

むこう やま こ ぶん ぐん
向山古墳群

向山古墳群は、淀江平野を見晴らす独立した丘陵上に築かれた鳥取県西部(西伯耆)を代表する古墳群です。古墳時代の中期末から後期(5世紀後葉~6世紀末)にかけて、大規模な古墳が継続して築かれました。

周囲の古墳群は円墳が中心ですが、向山古墳群には前方後円墳が連続して築かれており、淀江を支配する首長たちの墓域だったと考えられます。最大規模を誇る向山4号墳、長者ヶ平古墳、岩屋古墳が向山丘陵に築造される間に隣の丘陵には石馬谷古墳も造られています。両丘陵の古墳の被葬者たちはどのような関係だったのでしょうか。交互に首長を輩出したという説のほか、向山古墳群の一族とそこから分派した同族という説もあります。

向山古墳群の石室や遺物からは、さまざまな地域とのつながりがみえてきます。古墳時代には淀江平野に港として機能した潟湖が広がり、大山の麓には中国山地を越える交通路があったと思われます。水陸交通の要衝である地の利を活かし、近くは出雲、遠くは畿内や九州と関係を築いた首長たちの活躍が窺われます。



米子市撮影

いわや こ ぶん
岩屋古墳

東側に四角形の造出状施設を持つ前方後円墳です。墳丘や造出状施設からは円筒埴輪や形象埴輪(馬、水鳥、人物)がみついています。

石室は大きな一枚石を組み合わせて壁や天井をつくり、入り口を四角形にくり抜いた「石棺式石室」です。似た石室は出雲にもあり、九州の石室が出雲や西伯耆へ伝わったと考えられています。



との関係
九州
 との関係
出雲

岩本崇氏提供

いしうまだに こ ぶん
石馬谷古墳

他の古墳と少し離れた丘陵に立地し、小枝山5号墳とも呼ばれる61.2mの前方後円墳です。

重要文化財 石馬 古墳に並べられる埴輪は粘土で作られますが、九州北部には石でさまざまなものを表現した石製表飾(石人・石馬)を並べた古墳があります。石馬谷古墳からは石製表飾がみつかったとされています。本州唯一の発見例である石馬は国の重要文化財に指定されています。

下のQRコードから3Dの石馬をいろいろな角度で観察してみませんか。

との関係
九州
 との関係



大手前大学史学研究所提供
<https://sketchfab.com/3d-models/ishiuma-8d47696cb9c94f2689ef80895d2ab23a>

ちやうじゃがなる こ ぶん
長者ヶ平古墳 (私有地のため見学はできません。)

前方部が短い帆立貝形の前方後円墳です。後円部には長大な横穴式石室と「小石櫛」とよばれる小規模な埋葬施設がみつかりました。小石櫛から出土した透彫金銅製品、三累環頭柄頭、金銅製三輪玉、銅鈴は、大和王権から入手したと考えられます。中心的埋葬施設ではない小石櫛にも優品が副葬されていたのです。

研究最前線! 金銅製品は透かし彫りで花文が表現されています。その細かな違いから2個の冠があったと考えられていました。3D スキャンデータももちいた最新の研究成果では、断面形の違いなどから冠だけでなく美豆良金具と呼ばれる髪飾りもあった可能性が指摘されました。長者ヶ平古墳と同じように広帯二山式冠と美豆良金具がセットで見ついているのは、奈良県藤ノ木古墳など有力な人物が葬られた古墳です。長者ヶ平古墳の小石櫛には、大和王権に仕えた淀江出身のエリートが埋葬されたのかもしれない。

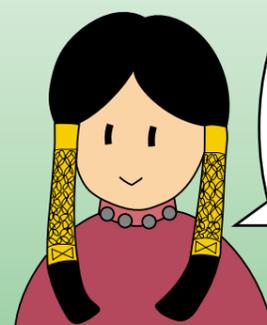


長者ヶ平古墳の横穴式石室

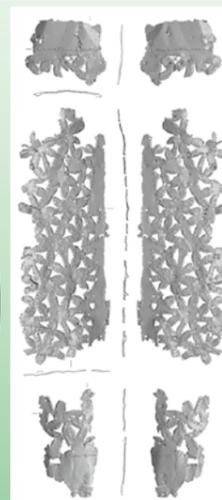
岩本崇氏提供

左上：透彫金銅製品
 右上：三累環頭大刀の柄飾
 右：美豆良金具の可能性が指摘された透彫金銅製品

との関係
畿内
 との関係



おさげのように下に長く垂らした下げ美豆良は、地位の高い人の髪型と考えられています。



東大人文・淀江プロジェクト、土屋隆史氏提供

向山4号墳 向山古墳群最大の前方後円墳

